



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役CF0 (氏名) 北川 智哉 (TEL) 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	5,948	41.4	2,283	474.4	1,827	-	1,344	-	1,454	-	1,961	-
2023年12月期第1四半期	4,206	6.9	397	△17.0	△64	-	△341	-	△2	-	△57	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	29.17	28.00
2023年12月期第1四半期	△0.06	△0.06

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	65,600	37,754	34,587	52.7	693.41
2023年12月期	62,394	36,052	33,794	54.2	678.01

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	-	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,566	52.1	16,286	24.2	15,552	23.3	12,287	29.3	7,058	△12.8	141.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	49,893,243株	2023年12月期	49,857,243株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	13,526株	2023年12月期	13,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	49,854,793株	2023年12月期1Q	47,486,452株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1-(4)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 研究開発活動 .....	4
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
要約四半期連結損益計算書 .....	8
要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(作成の基礎) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナや中東における地政学的リスクの長期化や、世界的な物価上昇等を背景に、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。我が国においては、円安による外国人観光客の増加もあり、景気は緩やかな回復傾向がみられましたが、日本でも物価上昇の影響による将来的な懸念がくすぶっております。当社が属するバイオテクノロジーセクターにつきましては、米国ナスダック市場でバイオテクノロジー指数が高値を更新する一方、国内では赤字を脱却できない創薬企業が多数存在し、先行きが見通せない状態です。

このような状況下におきまして、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関連会社（以下合わせて「当社グループ」）は、第1四半期連結累計期間の中で過去最高の売上収益、営業利益及び当期利益を達成しました。

製薬、創薬事業におきまして、まず、当社グループ主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下「北京コンチネント」）の主力製品であるアイスーリュイの販売が引き続き堅調に推移し、売上収益及び利益の増加に大きく寄与しました。同社は次期製品の有力な候補であるB型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を中国にて実施しており、臨床試験のデータ収集ができるよう鋭意進めております。また、2025年にはNASH（非アルコール性脂肪肝炎）起因の肝線維症適応に向け、第3相臨床試験を中国で開始する予定です。

次に、北京コンチネントは、中国で築き上げた販売網を有効活用するため、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）のジェネリック販売を本格的に開始しております。2024年5月8日に開示しましたとおり、アイスーリュイの競合薬であるニンテダニブのジェネリック製品に関する権利取得の契約を締結いたしました。これにより、特発性肺線維症（IPF）の治療薬として承認されている2剤すべてを北京コンチネントで販売することとなり、また、IPF以外の肺線維症への治療薬販売が可能となります。今回の権利取得により、今後は線維症における絶対的な地位を築いてまいります。

更に、米国ナスダック市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc.（以下「GYRE」）では、NASH向けの第2a相臨床試験を2025年初めに米国で開始すべく、鋭意準備を進めております。

米国及び中国を中心に研究開発に特化している米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しております。Cullgenはアステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。また、Cullgenは、同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としての臨床試験を中国にて進め、第1/2相臨床試験を開始しております。同時に、他の複数のプログラムについても、臨床試験開始を目指して開発を進めております。

また、2024年4月25日に開示しましたとおり、Cullgenはオーストラリアに子会社を設立し、急性痛を適応症としたTRK分解剤の臨床試験を開始すべく、早期の新薬臨床試験開始申請（IND）提出を進めてまいります。

医療機器事業に関しましても、米国でメドテック（生体材料）事業に携わるBerkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）を筆頭に、業績は堅調に推移しております。2024年4月25日に開示しましたとおり、BABとBerkeley Biologics LLC（以下「BB」）を含むメドテックグループのCEOとしてダニエル・ケリーが就任しました。今後、ダニエル・ケリーCEOのもと、メドテック事業全体で売上1億米ドルを早期に達成し、早期の上場を目指してまいります。

#### ①セグメント別の経営成績

##### **医薬品事業**

北京コンチネントの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は堅調に推移しました。また、Cullgenとアステラス製薬とのタンパク質分解誘導剤の共同開発収益401,441千円を計上しました。

その結果、医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ4,628,680千円（前年同期比28.3%増）、1,744,687千円（前年同期比1,069.3%増）となりました。

##### **医療機器事業**

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、BABの主力製品である骨移植関連製品の売上収益が引き続き好調に推移したことにより、それぞれ1,319,888千円（前年同期比120.1%増）、539,131千円（前年同期比117.0%増）となりました。

## ②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△2,646,363	△3,288,379	△642,015
人件費	△965,876	△1,380,635	△414,758
研究開発費	△635,649	△688,911	△53,262

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、3,288,379千円（前年同期比24.3%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に医薬品事業セグメントの人件費及び営業体制の構築費用やマーケティング活動関連費用の増加によるものです。

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は、688,911千円（前年同期比8.4%増）となりました。この研究開発費の増加は、主にCullgenにおけるTRK分解剤をベースとした抗がん剤候補の臨床試験の進展によるものです。

## ③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
金融収益	49,329	161,678	112,349
金融費用	△239,599	△629,737	△390,137

**金融収益**

当第1四半期連結累計期間の金融収益は、161,678千円（前年同期比227.8%増）となりました。この金融収益の増加は、主に北京コンチネントの長期性預金及びCullgenの普通預金等の受取利息の増加によるものです。

**金融費用**

当第1四半期連結累計期間の金融費用は、629,737千円（前年同期比162.8%増）となりました。この金融費用の増加は、主に外貨建て営業債務の為替差損の増加及びCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

## (2) 財政状態に関する分析

**連結財政状態**

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	差額
資産合計	62,394,370	65,600,114	3,205,743
負債合計	26,341,592	27,845,913	1,504,321
資本合計	36,052,778	37,754,200	1,701,422

**資産合計**

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、65,600,114千円（前連結会計年度末比5.1%増）となりました。この資産の増加は、主にその他の金融資産（流動）1,603,470千円の増加と円安に伴う外貨建てのれん評価額の増加1,283,762千円等によるものです。

**負債合計**

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、27,845,913千円（前連結会計年度末比5.7%増）となりました。この負債の増加は、主に短期借入金2,687,000千円の増加、CullgenシリーズB優先株式を取得したことに伴うその他の金融負債（非流動）の減少1,037,953千円等によるものです。

**資本合計**

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、37,754,200千円（前連結会計年度末比4.7%増）となりました。この資本の増加は、主に利益剰余金の増加によるものです。

## 連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	709,959	△350,252	△1,060,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,239,778	△1,801,086	△561,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,798	△87,618	△35,819

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、350,252千円の支出（前連結累計期間は、709,959千円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払757,237千円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,801,086千円の支出（前連結累計期間は、1,239,778千円の支出）となりました。これは主に、差入保証金・敷金の増加による支出2,039,620千円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、87,618千円の支出（前連結累計期間は、51,798千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金2,687,000千円の増加、非支配持分からの払込による収入520,205千円と非支配持分からの子会社持分取得による支出3,269,100千円等によるものです。

## (3) 研究開発活動

## 〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がんや疼痛及び自己免疫疾患に対する酵素、非酵素タンパク質を標的とした複数の化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は新薬を見出すための共同研究を行い、商業化を目指します。アステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

## 〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－北京コンチネント  
アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する第3相臨床試験を遂行しております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中

■F351（一般名：ヒドロニドン）－北京コンチネント及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略の非常に重要なものとなります。F351は、ブロックバスターと期待される新薬候補です。

F351は、B型慢性肝炎に起因する肝線維症の第3相臨床試験を順調に進めております。北京コンチネントは2023年10月、中国におけるB型慢性肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験の登録を完了し、臨床試験のデータ収集ができるよう鋭意進めております。

GYREは、2024年度中に米国当局に対し、新薬臨床試験開始申請（IND）を提出し、2025年にF351を非アルコール性脂肪肝炎（NASH）に伴う肝線維症の第2a相臨床試験を開始する予定です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－北京コンチネント

急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）の治療薬として、F573の第2相臨床試験を実施しております。

■F230（肺動脈性肺高血圧症治療薬）－北京コンチネント

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬として臨床試験を行っており、2024年3月、中国において新薬臨床試験開始申請（IND）を提出いたしました。

■F528（慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬）－北京コンチネント

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の進行を軽減する可能性のある新薬候補として研究開発を進めております。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1／2相臨床試験を中国にて開始いたしました。

■オーファンドラッグのジェネリック（希少疾病用医薬品）－北京コンチネント

北京コンチネントでは、値崩れしにくいオーファンドラッグのパイプラインの拡充を目指しております。慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバトロンボパグマレイン酸塩タブレット、多発性硬化症の治療薬であるフィンゴリモド塩酸塩カプセル等のジェネリック医薬品の販売権の取得を目指しております。また、2024年5月には肺線維症の治療薬であるニンテダニブの販売権を取得いたしました。

（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。



## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産</b>		
非流動資産		
有形固定資産	5,238,673	5,503,417
使用権資産	814,513	780,770
のれん	17,261,275	18,545,037
無形資産	3,690,331	4,028,271
持分法で会計処理されている投資	360,821	382,398
繰延税金資産	304,436	261,129
その他の金融資産	3,793,224	4,094,138
その他の非流動資産	23,811	25,420
非流動資産合計	31,487,087	33,620,583
流動資産		
棚卸資産	2,330,622	2,496,616
営業債権及びその他の債権	3,973,476	4,489,831
その他の金融資産	1,577,274	3,180,744
その他の流動資産	1,392,881	1,470,273
現金及び現金同等物	21,633,028	20,342,064
流動資産合計	30,907,282	31,979,530
資産合計	62,394,370	65,600,114
<b>負債及び資本</b>		
非流動負債		
借入金	1,600,000	1,500,000
リース負債	150,276	106,923
繰延税金負債	1,173,159	1,288,765
その他の金融負債	15,139,232	14,101,279
その他の非流動負債	85,146	85,161
非流動負債合計	18,147,815	17,082,130
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,064,776	2,131,948
借入金	1,300,000	3,987,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
リース負債	249,158	239,900
未払法人所得税	2,187,700	1,860,305
その他の金融負債	49,010	262,590
その他の流動負債	1,943,131	1,882,036
流動負債合計	8,193,776	10,763,783
負債合計	26,341,592	27,845,913
<b>資本</b>		
資本金	13,052,056	13,091,370
資本剰余金	7,397,974	6,280,008
自己株式	△15,302	△15,302
利益剰余金	8,790,563	10,245,072
その他の資本の構成要素	4,569,122	4,986,174
親会社の所有者に帰属する持分合計	33,794,414	34,587,323
非支配持分	2,258,363	3,166,877
資本合計	36,052,778	37,754,200
資本及び負債の合計	62,394,370	65,600,114

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	4,206,135	5,948,569
売上原価	△573,357	△1,217,077
売上総利益	3,632,777	4,731,491
販売費及び一般管理費	△2,646,363	△3,288,379
研究開発費	△635,649	△688,911
その他の収益	132,214	1,786,362
その他の費用	△85,381	△256,743
営業利益	397,598	2,283,819
金融収益	49,329	161,678
金融費用	△239,599	△629,737
持分法による投資利益(△損失)	△272,262	11,412
税引前四半期利益(△損失)	△64,934	1,827,172
法人所得税費用	△276,810	△483,010
四半期利益(△損失)	△341,745	1,344,162
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△2,874	1,454,508
非支配持分	△338,870	△110,345
1株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△0.06	29.17
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△0.06	28.00

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益 (△損失)	△341,745	1,344,162
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	282,489	601,052
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,222	16,431
その他の包括利益合計	284,712	617,483
四半期包括利益合計	△57,033	1,961,646
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	203,671	1,945,305
非支配持分	△260,704	16,340

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
四半期利益(△損失)	—	—	—	△2,874	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	206,546	206,546
四半期包括利益合計	—	—	—	△2,874	—	206,546	206,546
新株の発行	1,837	1,837	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	50,245	—	50,245
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
所有者との取引額合計	1,837	1,837	—	—	28,520	—	28,520
2023年3月31日残高	10,894,908	6,235,224	△756	693,486	852,712	2,529,985	3,382,697

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
四半期利益(△損失)	△2,874	△338,870	△341,745
その他の包括利益	206,546	78,166	284,712
四半期包括利益合計	203,671	△260,704	△57,033
新株の発行	3,675	—	3,675
株式報酬取引	50,245	—	50,245
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
所有者との取引額合計	32,195	—	32,195
2023年3月31日残高	21,205,560	△1,419,429	19,786,131

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2024年1月1日残高	13,052,056	7,397,974	△15,302	8,790,563	1,503,717	3,065,405	4,569,122
四半期利益(△損失)	—	—	—	1,454,508	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	490,797	490,797
四半期包括利益合計	—	—	—	1,454,508	—	490,797	490,797
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△1,157,280	—	—	—	△55,221	△55,221
新株の発行	39,314	39,314	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	11,883	—	11,883
新株予約権の行使	—	—	—	—	△29,962	—	△29,962
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△445	—	△445
所有者との取引額合計	39,314	△1,117,966	—	—	△18,524	△55,221	△73,745
2024年3月31日残高	13,091,370	6,280,008	△15,302	10,245,072	1,485,192	3,500,982	4,986,174

	親会社の所有者に帰属する 持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2024年1月1日残高	33,794,414	2,258,363	36,052,778
四半期利益(△損失)	1,454,508	△110,345	1,344,162
その他の包括利益	490,797	126,686	617,483
四半期包括利益合計	1,945,305	16,340	1,961,646
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,212,501	892,173	△320,328
新株の発行	78,628	—	78,628
株式報酬取引	11,883	—	11,883
新株予約権の行使	△29,962	—	△29,962
新株予約権発行費用	△445	—	△445
所有者との取引額合計	△1,152,396	892,173	△260,223
2024年3月31日残高	34,587,323	3,166,877	37,754,200

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△64,934	1,827,172
減価償却費	136,501	199,906
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	634,319	△260,411
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△355,840	47,887
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14,720	△31,039
賞与引当金増減額 (△は減少)	6,167	△84,495
金融収益及び金融費用	190,440	173,920
有価証券評価損益 (△は益)	45,691	△124,014
その他	374,706	△1,408,962
小計	981,771	339,964
利息の受取額	22,066	86,115
利息の支払額	△5,516	△19,094
法人所得税の支払額	△288,361	△757,237
営業活動による正味キャッシュ・フロー	709,959	△350,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△771,072	539,282
有形固定資産の取得による支出	△267,660	△150,843
無形資産の取得による支出	△198,631	△149,905
差入保証金・敷金の増加による支出	△3,599	△2,039,620
貸付金の回収による収入	1,185	—
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△1,239,778	△1,801,086
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (△は減少)	—	2,687,000
長期借入金の返済による支出	—	△100,000
非支配持分からの払込による収入	—	520,205
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△3,269,100
新株予約権の行使による収入	—	151,226
リース負債の返済による支出	△51,798	△76,950
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△51,798	△87,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	129,156	947,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△452,460	△1,290,963
現金及び現金同等物の期首残高	11,049,310	21,633,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,596,849	20,342,064

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

## (1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2023年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

## (2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりです。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司、Gyre Therapeutics, Inc.	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社、Berkeley Biologics LLC	生体材料、医療機器選任製造販売業者(DMAH)及び治験国内管理人(ICC)サービス

## (2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	3,606,336	599,799	4,206,135	—	4,206,135
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	22,896	22,896	△22,896	—
計	3,606,336	622,695	4,229,032	△22,896	4,206,135
セグメント利益	149,207	248,390	397,598	—	397,598
				金融収益	49,329
				金融費用	△239,599
				持分法による投資損失	△272,262
				税引前四半期利益（△損失）	△64,934

(注) セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	4,628,680	1,319,888	5,948,569	—	5,948,569
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,628,680	1,319,888	5,948,569	—	5,948,569
セグメント利益	1,744,687	539,131	2,283,819	—	2,283,819
				金融収益	161,678
				金融費用	△629,737
				持分法による投資利益	11,412
				税引前四半期利益	1,827,172

(注) 1. セグメント間の内部売上収益又は振替額は、独立企業間価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。



（重要な後発事象）

当該事項はありません。